

いよいよ、今年度も残りあとわずかですね。この一年で大きく成長した子どもたちの姿をうれしく、頼もしく感じているこの頃です。全国的には「感染性胃腸炎」の報告数が急増し、流行のピークを迎えています。南大泉保育園でも2月に胃腸炎様症状が流行しました。寒暖差から体調を崩しやすくなる時期なので、引き続き感染症に負けないからだづくりをしていきましょう。

感染性胃腸炎とは。。

感染性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスが原因の胃腸炎で、数時間前まで元気だったのに、突然顔色が変わり嘔吐が始まるケースが多く見られます。症状が出てから数時間が一番重く、水分を与えても吐いてしまいます。吐き気が治まるまで様子を見て、顔色が戻ってきたら経口補水液などを少量ずつ与えましょう。乳児の場合、母乳はそのままあげても構いません。下痢の症状は、数日前から出る場合もあれば、嘔吐が始まってから出る場合もあります。嘔吐物や便から感染するケースが多いので、早めの処理と消毒が、集団感染の予防につながります。



3月の健康関係予定

- 9日(月) 0・3歳児身体計測
- 10日(火) 1・4歳児身体計測
3・4歳児合同ほけん指導
- 11日(水) 2・5歳児身体計測
0歳児健診
- 19日(木) 5歳児ほけん指導



下痢をした時は…

便の状態を確認します。色、固さ、血液が混じっていないかなどをチェックし、受診する時に説明できるようにします。便の写真を撮り、医師に診てもらうのもよいでしょう。



下痢の時の食べ物

おかゆ、うどん、野菜スープ、バナナ、りんごのすりおろしなどが適しています。生野菜や、柑橘系の果物、バターが多いパン、油っこい物、消化の悪い物は避けましょう。



子どもは胃腸が未熟なので、よく下痢になります。ノロウイルスやロタウイルスを伴う下痢は、周囲への感染を防ぐため、迅速に処理しましょう。

吐いた時は・・・

子どもは少しの刺激でも吐くことがあります。吐いた時は嘔吐物が気道に詰まって窒息しないよう、子どもの頭と体を横に向けて寝かせます。次に、口の周囲をきれいにし、嘔吐物の内容を確認します。受診する時に、しっかり伝えられるようにしましょう。その後、体温を測り、顔色や呼吸の状態などをチェックします。うがいができる年齢の子どもなら、うがいをさせましょう。水分補給は吐き気が治まるまでは控え、子どもが水分を欲しがるといふようなら、経口補水液を少量ずつ飲ませてみましょう。

